



移住相談の窓口

開所時間は平日の午前9時から午後5時30分。土日祝日については事前予約をお願いします。
☎ 090-8280-5464 メール ▶ iju@iitatelife.jp

いいたて移住サポートセンター

7月にオープンした「いいたて移住サポートセンター」では、移住関連の情報を集め、常駐するスタッフが、移住希望者の相談に応じています。

センターは、村役場に隣接する環境共生型住宅「まていな家」の中にあります。室内は木の温もりにあふれた温かな雰囲気、スタッフの皆さんが季節の花や木の実をさりげなく飾り、お客様を迎えています。

開所から8月末までに移住関連の相談が37件ありました。センターを新たな拠点に、すでに定住されている方や地域おこし協力隊とも連携し、「いいたて移住」がよりよいものになるよう取り組みを進めます。



移住希望者の相談を受け付けます。対話を通して一人ひとりのニーズをくみ取り、情報提供を行います。

19行政区の避難指示解除から5年半

コロナ禍の影響で地方移住が進んでいる?

飯舘村ではどんな感じ?

いいたて移住の現在地を見てみよう

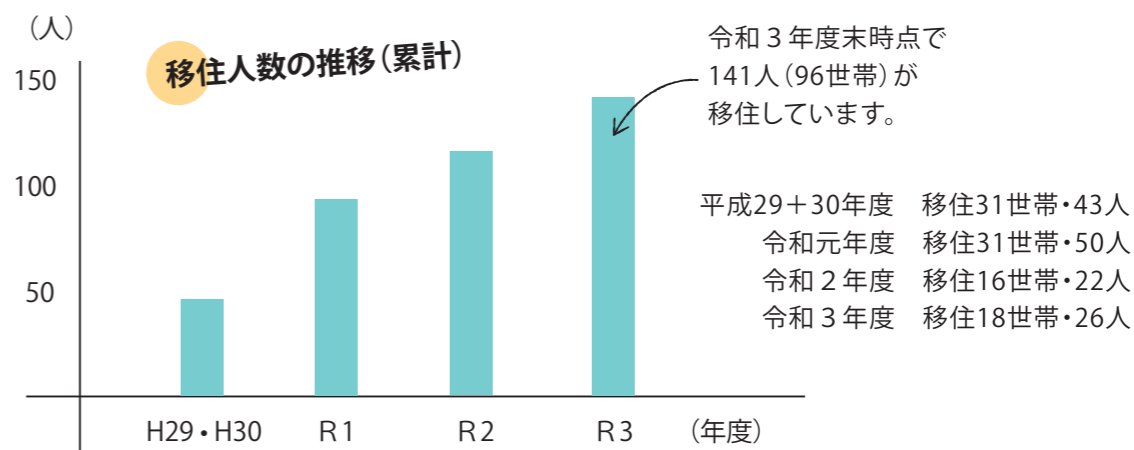
「移住」とは、定住を目的に、他の土地に移り住むこと。

震災やコロナ禍が、生き方や暮らし方を見つめ直すきっかけとなり、幅広い世代の地方移住が、全国で進んでいます。また、こうした流れの中で、人口減少や高齢化を課題とする過疎地域では、新たな住民を呼び込もうとさまざまな移住促進施策を展開しています。

飯舘村でも、移住に活用できる補助制度を設け、今年7月には「いいたて移住サポートセンター」を開設するなど、移住促進の施策を進めています。平成29年3月末の避難指示解除以来、昨年度までに、約100世帯の移住がありました。

飯舘村を選んでくださった皆さん。ありがとうございます。移住という大きなチャレンジですから、想像と現実には少なからずギャップもあるでしょうし、うまくいくことばかりではなかったはず。けれども今、そんな皆さんの一步一步の取り組みが、少しずつ実を結び、村に彩りをもたらしてくれています。

「いいたて移住」の現状を、ちょっとのぞいてみましょう。



住宅の確保が急務です!

移住希望の方に対して、現在紹介できる住宅が不足している状態です。センターでは、「空き地・空き家を、売りたい、貸したい」方の物件調査や、「飯舘村空き地空き家バンク」登録のサポートを行っています。

ご検討中の方は、ぜひご連絡ください。

同封のチラシもご覧ください。

村民の皆さんの協力のもと

移住検討者向けツアー「ミチシル旅」



「村民の森あいの沢」の民家園にて。管理人さんの手ほどきで木工細工を体験しつつ、参加者同志も交流。

新たなツアーを実施中!

移住を検討している方に飯舘村の魅力を知っていただくツアーを開催しています。今年度は、テーマの異なる全3回のツアーを開催する予定。写真は9月に開催されたツアー第2弾のひとつです。



「いいたて結い農園」を訪問。まていに育てるエゴマやホーリーバジルの魅力に触れていただきました。

Iターン・Uターン

Iターンは67世帯 Uターンは17世帯
I(あい)ターン=新しい土地への移住
U(ゆー)ターン=地元など過去の居住地への移住

世帯別の移住元

- 福島県内 40世帯
- 宮城県 8世帯
- 東京都 7世帯
- 千葉県 5世帯
- 埼玉県 5世帯
- 神奈川県 3世帯
- 茨城県 3世帯
- 大阪府 2世帯
- 鹿児島県 2世帯
- 青森県※以下各1世帯
- 岩手県
- 新潟県
- 静岡県
- 鳥取県
- 和歌山県
- 兵庫県
- 福岡県
- アメリカ合衆国

いいたて移住を数字で見ると

19行政区の避難指示解除からの5年間に飯舘村へ移住したのは96世帯141人でした。そのうち都合により12世帯13人が転出しており、実質的には、令和4年3月末時点の集計で、84世帯128人が飯舘村に定住しているということとなります。

移住前の居住地は、県内が最も多く84世帯中40世帯が県内からの移住です。市町村別では福島市からが最多で18世帯となっています。